

令和5年度 月島第三小学校 外部評価報告書

評価委員会名：月島第三小学校 外部評価委員会

評価委員： 滝浪 誠 興石 智宏 永久 亮 藤江 敏郎 仁井田 孝春

(報告書作成者：藤江 敏郎)

評価時期 令和6年2月

## 1 重点目標の評価

重点目標1について

基礎学力の定着と学力の向上を図る

- ・十分な評価であると考え。教育活動全般を通してよくできたと評価できる。
- ・児童が自ら学ぶ姿勢を身につけ、「学ぶことが楽しい」という学びの原点を大切にしてほしい。
- ・教員にもタブレット端末の操作が得意な教員もいれば、そうでない教員もいる。授業や業務の効率化のためには教員全体でのICTスキルの向上を図り、考えや立場の異なる教員も一緒に進めていってほしい。

重点目標2について

共に生きる力を育てる

- ・幼小連携を通して、体力向上、健康への取組は重要である。
- ・小中の交流(児童・生徒・教員)ができていない。小学校から依頼があれば、中学校生徒会も快く派遣する。
- ・あいさつはよくするが、自分から進んでは難しい子もいる。中学校もあいさつ運動を行っているが、小学校の元気なあいさつ運動の声も聞こえてくるので、小・中で一緒にできるよう連携を図りたい。
- ・大人になっても活用される力をつけていくためには、幼児期・児童期から豊かな体験学習積み重ねていくことが大切である。

重点目標3について

健康な体と体力の向上を図る

- ・児童、生徒の筋力が低下している。コロナ禍でボールが投げられない等、影響している。
- ・運動量確保のため、中学校も協力できるところはしていきたい。
- ・晴海地域の子どもたちの健全育成のため、地域として、子どもたちに危険は伝えていくが、伸び伸びと生活してほしい。

## 2 その他の意見

- ・20年先を見据えて、晴海のために取り組んできた。子どもたちの幸せのために大変な時間がかかったが、時代の流れとともに、さらに強い子、自分に強い子に育てて欲しいと願っている。
- ・拡大していく晴海のコミュニティーをどのようにしていくか、愛着をもってもらうためにはどうしたらよいかを考えている。学校を応援するために、どのように関わることができるか課題である。